



TRIBRID

トライブリッド蓄電システム®

パワーコンディショナと蓄電池ユニットの使用上のご注意：ご使用される前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。

●購入時に補助金の交付を受けた方は設置時から一定期間の使用が義務付けられる場合があります。その間は本製品を適正にご使用していただく必要があります。期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。●蓄電池からの放電中の動作について 電力会社との取り決めにより、放電中に微量電力を買電しています。蓄電池に貯めた電力は太陽光発電システムと異なり、送電線へ電力を逆流させない決まりとなっています。このため、本製品ではご家庭のご使用電力より約30W少なく放電することにより、取り決めに担保しています。●蓄電池のメンテナンスモードについて、蓄電システムの性能維持のために、年1回(6月)自動でメンテナンスモードを実行します。メンテナンスモードとは、蓄電池を自動的に点検するモードです。ご家庭の消費電力量が少ない場合は、一日でメンテナンスモードが終了しないことがあります。メンテナンスモードは蓄電池の性能を維持するために必要な機能です。また、メンテナンスモード時には100W以上消費する家電製品を接続して動作させてください。●装置の近くでテレビやラジオなどを使用する場合は、テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。3m以上離してご使用ください。受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける可能性があります。●本製品には、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。停電時に夜間や曇りなどで発電電力または蓄電池の電力が不足すると装置は停止し、家電製品の電源が切れます。大切なデータの入ったパソコン等、途中で電源が切れると困る電気製品は接続しないでください。●停電時に一度に多くの機器をご使用になると保護のために出力が頻りに停止し、機器の故障の原因となることがあります。ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。●センサー機能や調光機能がある照明は、停電時にちらつく場合や、動作しない場合があります。●燃料電池を併設する場合は、設置・接続方法などを販売店へお問い合わせください。●併設する太陽光システムに制約がある場合(メーカー、型番、容量)があります。●近隣にアマチュア無線局がある場合、電波受信に影響を与える可能性がありますので、事前に販売店にご相談ください。●外付け太陽光発電の余剰電力をグリーンモードで余剰充電する場合には、すべての余剰電力を充電することはできません(100～200W充電します)。●動作温度範囲外では運転を停止します。

V2Hスタンド・ボッドの使用上のご注意：ご使用される前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。

●吸気口や排気口を塞がないでください。内部の温度が上昇し危険です。●装置の近くでテレビやラジオなどを使用する場合は、テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。3m以上離してご使用ください。受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける可能性があります。●可燃ガスや引火物を製品の近くで使用しないでください。発煙発火の原因になることがあります。●濡れた手でコネクタに触れたり、抜き押しすることはないでください。感電の危険性があります。●コネクタがロック中は、コネクタをこじるなどして無理に抜かないでください。高電圧の印加されている箇所があり危険です。●本体、コネクタ、充放電ケーブル等は絶対に修理・分解・改造をしないでください。高電圧の印加されている箇所があり危険です。●充放電ケーブルを車で踏んだり、足を引っ掛けるなどして強い力が加わると、本体、コネクタおよび充放電ケーブルが破損する可能性があります。●本体に強い衝撃を与えたり、本体の上に乗ったり、物を置いたり、ひきずったりしないでください。本体の故障につながる可能性があります。●コネクタや充放電ケーブルに損傷、腐食、サビがある場合、または充放電の接続にガタや緩みがある場合は、充放電を行わないでください。漏電、感電、ショート、火災の原因になります。●雷が鳴り出したら、車両や本体に触れないでください。落雷による感電の恐れがあります。●万一、異音や異臭がしたり、エラーが表示された場合は、速やかに使用を中止し、お客様相談窓口にご相談ください。●停電時の自立運転時にはV2Hスタンドから給電される場合において、V2Hスタンドの給電能力を超えると停電が発生します。そのため、録画機器やパソコンなど、途中で電源が切れては困る電気製品の使用においてはご注意ください。瞬時停電で影響の出る家電製品は、バックアップ電源(UPS)などの利用をお奨めします。●接続車両については、弊社ホームページをご確認ください。●車種の違いにより起動方法が異なる場合がありますので、車両の取扱説明書をご確認ください。●停電時の自立運転起動にはDC12V電源ケーブルの接続が必要な車両があります。取扱説明書をご参照ください。

設置場所について：本製品は次のような場所には設置できません。

●標高2000mより高いところ ●岩礁隣接地域 ●重塩害地域 ●揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ ●振動、衝撃の影響が大きいところ ●油蒸気のあるところ ●浸水のおそれがあるところ ●電界の影響が大きいところ ●風通しが悪いところ、屋内(物置、倉庫を含む)。ただし、蓄電池ユニットは除く ※蓄電池ユニットを屋外に設置する場合には、蓄電池屋外用ケースが必要となります。 ●販売会社で決められていないところ ●結露および氷結のあるところ ●各機器の設置可能温度範囲を超えるところ ●直接日射が当たるところ (V2Hスタンド・ボッド除く)

⚠️ 安全に関するご注意

●ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みください。ご不明な点は予めお買い上げの販売店または工事会社にご相談のうえ、正しくご使用ください。●人命に直接かわる医療機器などへの接続は絶対にしないでください。●植込み型心臓ペースメーカー及び植込み型除細動器(ICD)を使用している方は、充電中、給電中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合がありますので使用しないでください。●充電中、給電中の本製品に近づかないでください。なお、不用意に近づいた場合には、立ち止まらずに速やかに離れてください。●機器本体部及び充放電コネクタに密着するような姿勢はとらないでください。●本製品を操作する必要がある場合は、他の方へお願いしてください。詳細は一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会のホームページをご確認ください。●本機を本来の充放電以外の用途に使用することは危険ですので行わないでください。

ずっと使うものだから、トップメーカーならではの安心を。

ニチコンは、家庭用蓄電システムの累計販売台数、国内No.1*。「電気を蓄え、上手につかうテクノロジー」のトップメーカーとして常に「この先も価値の続くもの」をご提案してきました。地球規模の環境問題、日本のエネルギー問題から、家族の未来まで考えて、蓄電システムを開発しています。

*2021年9月末現在、ニチコン調べ。

POINT 1 2012年の初出荷以来、10万台以上を販売しているトップメーカー (2021年9月末現在)

POINT 2 2.0～16.6kWhという業界唯一の幅広い商品ラインアップ

POINT 3 国内の幅広い太陽光発電システムや燃料電池とも接続可能

POINT 4 大手ハウスメーカー様や住宅建材・太陽光発電の商社様、販売店様に多く採用

家庭用蓄電システムの
累計販売台数
国内No.1

POINT 5 ネットワーク&見守りサービス対応で安心もしっかり

POINT 6 安心の長期保証と充実のアフターメンテナンス体制

POINT 7 システム連系(JET)認証取得、ECHONET Lite搭載

製造元

ニチコン株式会社

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845
https://www.nichicon.co.jp/



製品に関するお問い合わせ

☎️ **0120-215-086** (フリーダイヤル)

e-mail: info-ess@nichicon.com

受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 (土・日・祝日・休業日は除く)

販売店